

目 次

まえがき iii

第 I 部 統語論

- 第 1 章 英語の仮定法研究を見直す
—if 節内の直説法と will—
..... 八木 克正 2
- 第 2 章 標示付け不履行による文派生
..... 小野 隆啓 17
- 第 3 章 日本語関係節における主要部上昇移動
..... 北尾 泰幸 29
- 第 4 章 非連続依存関係の統語分析
—程度句の分布を中心に—
..... 菊地 朗 47

第 II 部 形態論

- 第 5 章 2 種類の音韻語の存在について
—接頭辞における強勢移動の観点から—
..... 西原 哲雄 62

第6章	隣接性と文法化に基づく形態音韻論的構造の変化	米倉 綽・西原哲雄	70
第7章	現代英語の派生接頭辞 en- は本当に RHR の反例か？	長野 明子	77
第8章	英語の段階的形容詞の非段階的解釈をめぐって — 語と句の境界についての— 考察 —	島村 礼子	94
第9章	接辞「的」が産出する形容詞と副詞について	島田 雅晴	109

第 III 部 音声学・音韻論

第10章	「ダイヤモンド」と「コンクリート」のアクセント — 大阪方言における外来語の音調変化と言語構造 —	田中 真一	128
第11章	日本語話者の英語流音の認識	近藤 真理子	147
第12章	r 音について	松沢 絵里	164
第13章	音声・音韻研究における音声コーパスの利用	北原 真冬	176

第 14 章	並列構造のコンビ名におけるメンバー名の並び順について	小川 晋史	188
第 15 章	基本フットの解明と英語の音声変化に関する実証研究	神谷 厚徳	201
第 IV 部 意味論・語用論			
第 16 章	言語使用の観点から見た移動表現の類型論 — 日本語・英語・イタリア語話者の主体／客体移動表現 —	吉成 祐子	216
第 17 章	従属節からの語用論的標識化 — 発話動詞関連の懸垂分詞構文がたどる新たな構文への道 —	早瀬 尚子	231
第 18 章	時間の意味論	谷口 一美	249
第 19 章	事象から属性へ — 日本語の動詞由来複合名詞の述語名詞用法について —	由本 陽子	263
第 20 章	コ・ソ・アの 3 分法と this/that の 2 分法 — [内心的]・[外心的] の観点から —	高橋 潔	280
執筆者紹介		291